

予算の使いみち



子育て支援

子ども通院・入院医療費

助成の拡充

対象範囲を高校卒業まで拡充します。通院1回530円、5回目以降は無料、入院は1回1200円の自己負担とする制度に1650万円を計上しました。

通学用定期券購入補助事業

をスタート

高校生と中等教育学校生を対象とした新規事業で540万円を計上。定期券購入額の30%を助成する制度で、全国でも先進的な取り組みです。

予防接種費用

1830万円を計上し、感

染症などの予防対策に力を入れます。幼児の細菌性髄膜炎による障がい発症を予防するヒブワクチン接種と、小児肺炎球菌接種費用の全額助成制度を継続。

中学1年生女子を対象とした子宮けいがん予防ワクチン接種費全額助成も継続します。

出産支援

妊婦一般健康診査には418万円を計上。安心して出産できるように、全額助成を行います。

年間10万円を上限とした不妊治療補助金に100万円を計上。初期治療から支援できる要件となっています。

教育環境の充実

関川小情報通信技術

(ICT)事業の充実

全国から注目されている先進的な取り組みを継続するため、全教室に電子黒板を導入し、更なる学習環境の向上を

小・中学校の通学費及び

教員助手の配置

定期券代1165万円、臨時バス借上料114万円、スクールバス運行費1798万円をそれぞれ計上。

教員助手の配置費には小・中学校合わせて14人分2720万円を計上しました。県内でもトップクラスの指導体制で、きめ細かな教育環境の充実を図ります。

給食費

放射性物質検査を継続し、食材の安心安全を確保するとともに、地産地消の食材も取り入れた美味しい給食を提供します。3513万円を計上しました。

関川中グラウンド設計調査

平成26年度は詳細な設計調査を行い、次年度に工事着手を予定しています。550万円を計上しました。

施設の長寿命対策・安全対策

中学校特別教室棟のクラック補修工事に235万円、小学校の校舎雪庇防止工事に50

万円をそれぞれ計上しました。



医療福祉の充実

地域医療の充実

村民が安心できる地域医療体制を確保するため、平日夜間の急患診療（内科・小児科）を村上市に委託します。

また、村上総合病院の休日診療体制の補助金に163万円、医療設備導入の補助金45万円をそれぞれ計上しました。

高齢者福祉

高齢者が安心して健やかに暮らすことができるよう、在宅生活を支援する福祉サービスを継続します。

むつみ荘で実施しているデイホーム利用送迎車購入に341万円を計上。さらに、地域の茶の間事業や元気はつらつ事業など、介護予防対策の充実を図ります。

各地区の老人クラブ補助金

に119万円、地区敬老会補助金に229万円をそれぞれ計上。村社会福祉協議会への補助金は2399万円としました。

国民健康保険・介護保険

国民健康保険特別会計繰出金は7840万円、介護保険特別会計繰出金は1億6156万円をそれぞれ計上。保険基盤の安定と制度の充実を図ります。

なお、75歳以上の介護保険未利用者の方に対する商品券代として、330万円を計上しました。

産業の振興

農業



水田利活用推進補助金には1300万円を計上。国の政策に注視しながら対応します。

中山間地域等直接支払交付金には1752万円を計上。新規事業である農業の多目的機能の維持・発揮のための地

域活動や営農活動に対する支援を行う多目的機能支払交付金1197万円を計上しました。

地産地消推進対策費には132万円を計上し、保育園、小学校、中学校への地元農産物の提供をはじめ、あいさい市利用促進事業として出荷手数料の5%を助成します。

農業生産基盤等整備事業314万円、県営土地改良事業負担金1445万円をそれぞれ計上し、土地改良事業の推進を図ります。

林業

林業振興として森林環境保全直接支援事業補助金をはじめ、国の政策と連動して総額2032万円の補助金を計上。さらに、林道板橋線舗装事業に2170万円を計上し、林業活性化を推進します。

商工観光

商工会補助金には648万円を計上。経営支援事業や空き店舗対策、地域商店街の活性化事業を支援します。また、村内消費拡大を目的としたプレミアム商品券発行事業に1100万円を計上しました。ゆくむの運営に6052万円

村有観光施設の管理費として5712万円をそれぞれ計上し、運営を管理公社に委託します。

観光施設整備費に9304万円を計上。大石ダム湖畔公園に新しい遊具とバッテリーカーなどを設置します。



生活環境衛生の確保

ごみ・汚水処理

村上市新ごみ処理場建設事業負担金を4137万円計上しました。

ごみ処理では、収集委託料に3987万円、村上市へのごみ処理運営費委託料に1181万円をそれぞれ計上しました。

汚水処理では、合併処理浄化槽設置補助金に480万円、胎内市清掃センターし尿処理委託料に2423万円、下水道事業会計（公共下水道事業・農業集落排水事業）繰出金に3億712万円をそれぞれ

計上しました。

水道

安心な飲料水を供給するため、水道事業会計に1785万円の補助金を計上。また、簡易水道特別会計には2009万円を繰出し、住民の生活環境衛生を確保します。

なお、水道、下水道料金については、消費税率の引き上げに伴い4月から料金改定を行います。

安心安全の確保

安心安全対策

自主防災組織の推進と育成に60万円、要援護世帯への雪下ろし補助金に120万円、集落への除雪機械購入補助金に140万円をそれぞれ計上しました。

防災

近年の局地的豪雨による洪水対策として、住民が安全に避難できるように、ハザードマップ作成に400万円を計上。今年度は荒川右岸地区の作成を予定しています。

災害時に避難所となる関川中学校に防災備品庫設置費140万円を計上。また、防災

訓練経費として20万円を計上しました。

老朽化対策

国の社会資本整備総合交付金を活用して、大石ダムトンネル点検に500万円、老朽化した消雪パイプ更新に2240万円、上野新中東線改良に1200万円をそれぞれ計上。村単独事業を含めた道路の改良や維持修繕、消雪パイプの更新、交通安全施設などの工事費は、1億5925万円としました。各集落からの要望箇所を確認し、老朽化の程度や必要性の高い所に予算配分しています。

消防団

団運営費に2482万円、消火栓更新に890万円、消防積載車2台購入に840万円をそれぞれ計上し、消防団活動を支援します。また、耐震性貯水槽整備に2810万円を計上。設置は宮前、蛇喰、上土沢を予定しています。

除雪経費

消雪パイプ電気料や修繕料、除雪委託料など1億937万円を計上。また、除雪ドーザー更新に2500万円を計上し、

冬期間の安心安全を確保します。



暮らしの充実

住宅リフォーム（改修）の補助金を継続します。20万円以上の改修工事費に対し10%を補助（上限10万円）するもので、村内事業者への発注が条件となっています。

路線バス運行補助金には2231万円を計上。越後下関駅の業務委託料には582万円を計上しました。

地方消費税交付金

歳入における地方消費税交付金は、消費税率引き上げによつて前年比1800万円の増額を見込んでいます。引き上げ分については、「社会保障施策に要する経費」に充てるとされてきて、当村では各種健診（検診）や予防接種費用に充当します。